

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.

Japan Patent Office  
Utility Model Laying-Open Gazette

Utility Model Laying-Open No.           62-9482  
Date of Laying-Open:                   January 21, 1987  
International Class:                   A 63 B 71/14

(2 pages in all)

---

Title of the Invention:                   Ball Catching Tool for Baseball

Utility Model Appln. No.               60-100294  
Filing Date:                           June 29, 1985  
Inventor:                               Hideaki MURAI  
Applicant:                              Hideaki MURAI

(transliterated, therefore the  
spelling might be incorrect)

Partial Translation

What is claimed is:

A baseball glove prepared by fitting a buffering leather partition into one to three of a forefinger stall, a middle finger stall and a ring finger stall among finger stalls of the body of a glove-type ball catcher so that a finger is freely insertable between a leather finger back and said leather partition or between said leather partition and a leather finger pad of said finger stall.

⑤ Int. Cl.<sup>4</sup>  
A 63 B 71/14

識別記号

庁内整理番号  
2107-2C

④ 公開 昭和62年(1987)1月21日

審査請求 有 (全2頁)

⑬ 考案の名称 野球用捕球具

⑭ 実 願 昭60-100294

⑮ 出 願 昭60(1985)6月29日

⑯ 考 案 者 村 井 英 明 大阪市浪速区大国3丁目7番16号

⑰ 出 願 人 村 井 英 明 大阪市浪速区大国3丁目7番16号

⑱ 代 理 人 弁理士 鎌田 文二

⑲ 実用新案登録請求の範囲

手袋形捕球具本体の指袋において、人指指袋、中指袋、薬指袋のうちの1指袋乃至3指袋の内部に緩衝用仕切皮を取付け、前記指袋の指甲皮と仕切皮の間若しくは仕切皮と指掌皮との間に指を挿入自在としたことを特徴とする野球用捕球具。

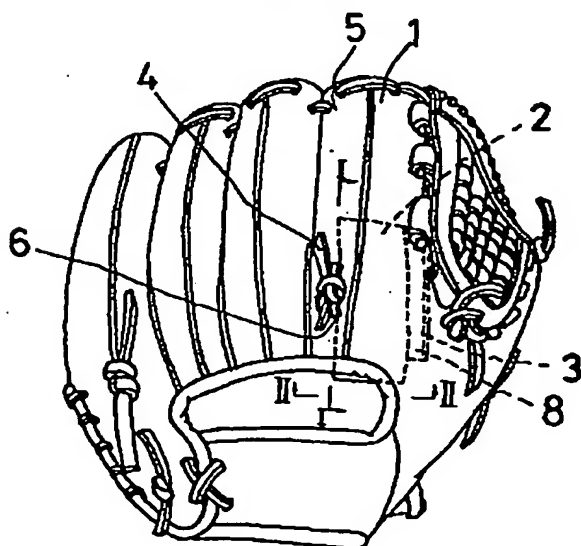
図面の簡単な説明

第1図は、この考案の一実施例を示す甲面から

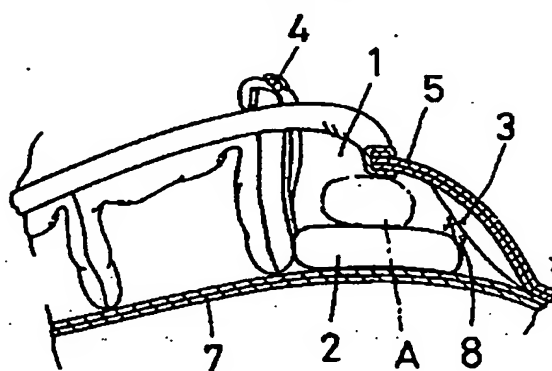
見た平面図、第2図及び第3図は第1図I-I線に沿った縦断側面図及び第1図II-II線に沿った縦断側面図、第4図は同上に取付ける仕切皮の斜視図、第5図は同上の他の使用例を示す要部縦断側面図、第6図はこの考案の他の実施例を示す要部縦断側面図である。

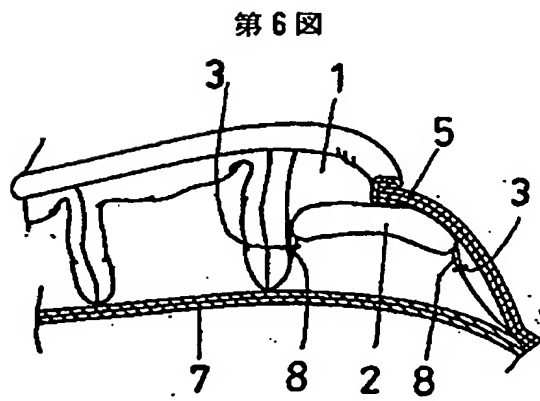
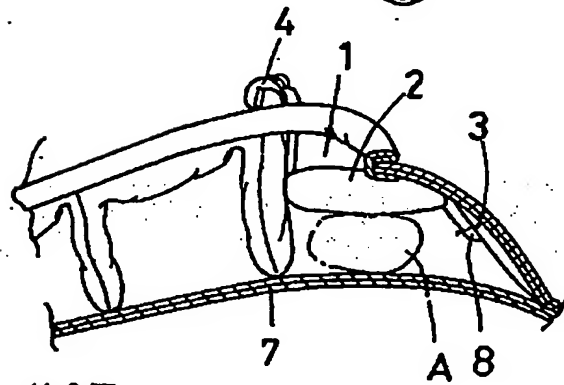
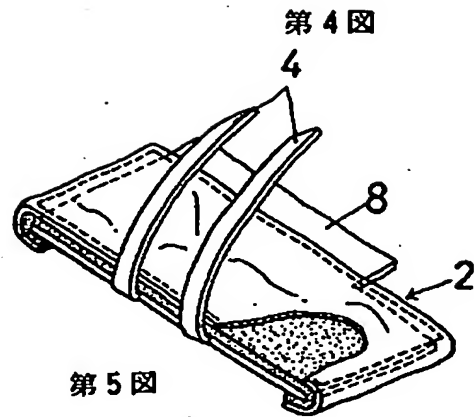
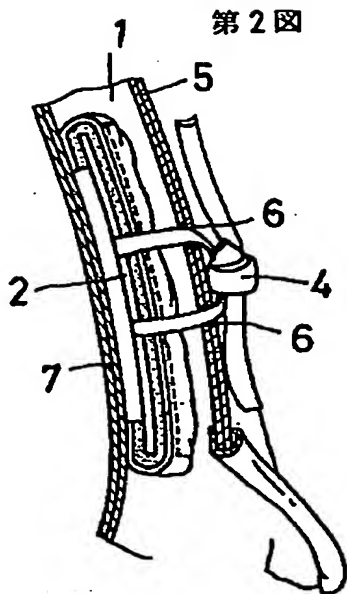
1…人指指袋、2…仕切皮、4…皮紐、5…指甲皮、7…指掌皮。

第1図



第3図





# 公開実用 昭和62-9482

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-9482

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

A 63 B 71/14

識別記号

庁内整理番号

2107-2C

⑭ 公開 昭和62年(1987)1月21日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 野球用補球具

⑯ 実 願 昭60-100294

⑰ 出 願 昭60(1985)6月29日

⑱ 考 案 者 村 井 英 明 大阪市浪速区大国3丁目7番16号

⑲ 出 願 人 村 井 英 明 大阪市浪速区大国3丁目7番16号

⑳ 代 理 人 弁理士 鎌田 文二

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

野球用捕球具

### 2 実用新案登録請求の範囲

手袋形捕球具本体の指袋において、人指指袋、中指袋、薬指袋のうちの1指袋乃至3指袋の内部に緩衝用仕切皮を取付け、前記指袋の指甲皮と仕切皮の間若しくは仕切皮と指掌皮との間に指を挿入自在としたことを特徴とする野球用捕球具。

### 3. 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

この考案は、捕球時の指に対する衝撃防止に工夫を施したグローブ、ミットの野球用捕球具に関するものである。

#### 〔従来の技術〕

皮製の手袋形状をした野球用捕球具は、球を受止めやすくするため、手挿入口の掌側に詰め物を入れて分厚く盛り上がらせると共にこれに連なる親指袋及び小指袋の掌側に分厚い芯を入れ掌の中央部がくぼむように形成されており、さらに、掌

(1)

面が広く且つ5本の指袋が長く形成されている。

〔考案が解決しようとする問題点〕

ところが、このような野球用捕球具では、練習時鍛練する目的もあつて投球者がかなり力を入れて速球で投球すると指に大きな衝撃が作用し、人によつては長時間にわたつての捕球が困難となる問題点があつた。

〔問題点を解決するための手段〕

この考案は、上記のような問題点を解決するために、手袋形捕球具本体の指袋において、人指指袋、中指袋、薬指袋のうちの1指袋乃至3指袋の内部に緩衝用仕切皮を取付け、前記指袋の指中皮と仕切皮の間若しくは仕切皮と指掌皮との間に指を挿入自在としたものである。

〔実施例〕

この考案の一実施例を添付図面に基づいて説明する。この考案の野球用捕球具は、第1図に示すように、5本の指袋を備えた皮製の手袋形捕球具本体の人指指袋1の内部に細長い方形状緩衝用仕切皮2（第4図参照）を挿入しその右端縁がミシ

ン縫目 3 (第 3 図詳細参照) で縫止められ、仕切皮 2 の左側遊離端に取付けた対の皮紐 4 を指甲皮 5 に設けた皮紐挿通孔 6 に通して外側で締結し、前記人指指袋 1 に指 A を、例えば練習時には指甲皮 5 と仕切皮 2 との間に挿入し (第 3 図参照)、試合時には仕切皮 2 と指掌皮 7 との間に挿入する (第 5 図参照) ようにして使い分けすることができるものである。

前記仕切皮 2 は、第 4 図に示すように、捕球具本体を形成する掌内皮 (図示省略) の指部と略同じ幅を有し、且つその指部の略  $\frac{1}{2}$  の長さのもので、長手方向一端縁に縫代 8 が突設されており、他端縁に対の皮紐 4 の端が縫止めされている。またこの仕切皮 2 は、下端が人指指袋 1 の付け根付近又は付け根より多少掌側に位置するように取付けられている。なお仕切皮 2 は一重皮や二重皮を用いて適宜その厚さを選択することができる。

前記野球用捕球具は、上記仕切皮 2 によって、人指指袋 1 に挿入した指全体が被覆されるようになり、さらに皮紐 4 を緩めたり締めたりして挿入した指への感触を調節することができる利点がある。

(3)



る。この野球用捕球具は、第3図に示すように、指甲皮5と仕切皮2との間に指Aを挿入すると、掌側において、指掌皮7と仕切皮2とで分厚くなり捕球時指及び指の付け根部に対する衝撃が緩和できる。

第6図は、この考案の他の実施例を示す要部縦断側面図である。この実施例の野球用捕球具は、長手方向両端縁に縫代8を突設した仕切皮2が人指指袋1の内部に両端縁でしっかりと縫止めされたものである。

なお、この考案の野球用捕球具は、上述の両実施例とも、人指指袋の1指袋に仕切皮を取付けるほか、人指指袋と中指袋の2指袋に、又は人指指袋、中指袋及び薬指袋の3指袋に同じような仕切皮を取付けることができる。

〔効果〕

以上述べたように、この考案に係る野球用捕球具は、手袋形捕球具本体の人指指袋、中指袋、薬指袋のうちの1指袋乃至3指袋の内部に緩衝用仕切皮を取付けたものであつて、指甲皮と仕切皮の

間に指を挿入すると掌面が指掌皮と仕切皮とで分厚くなり練習時等かなりの速球であつても衝撃がやわらげられて指及び指の付け根部が痛くなく、また、試合時等には仕切皮と指掌皮との間に指を挿入すると従来通りの指掌皮のみとなる等、本人の好みに応じて極めて簡単に使い分けすることができる等の効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は、この考案の一実施例を示す甲面から見た平面図、第2図及び第3図は第1図Ⅰ－Ⅰ線に沿った縦断側面図及び第1図Ⅱ－Ⅱ線に沿った縦断側面図、第4図は同上に取付ける仕切皮の斜視図、第5図は同上の他の使用例を示す要部縦断側面図、第6図はこの考案の他の実施例を示す要部縦断側面図である。

1 … 人指指袋、2 … 仕切皮、4 … 皮紐、5 … 指甲皮、7 … 指掌皮

実用新案登録出願人

村 井 英 明

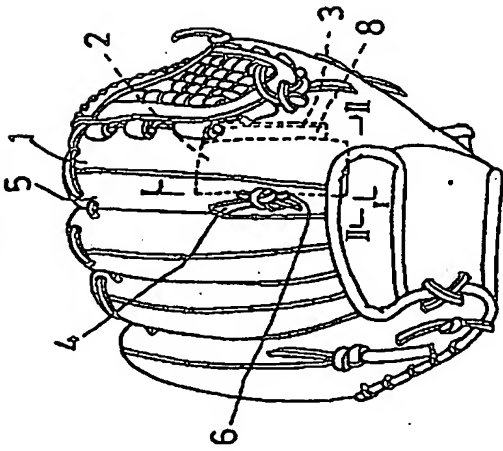
同

代理人

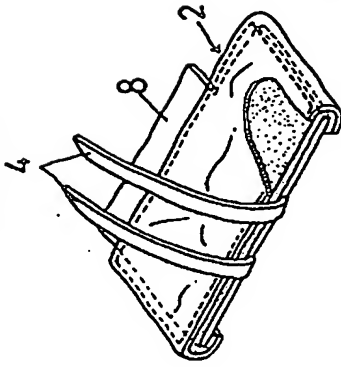
鎌 田 文 二

(5)

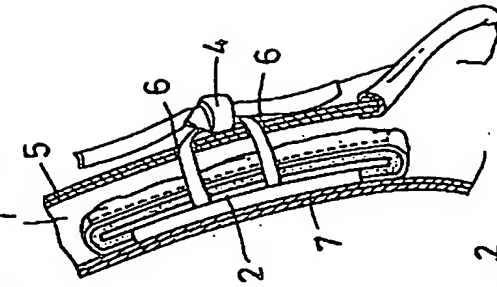
第1図



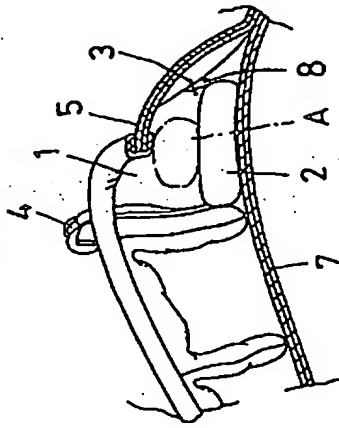
第4図



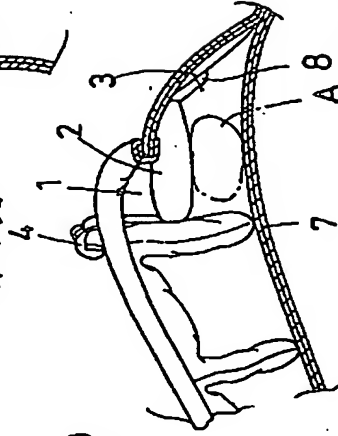
第2図



第3図



第5図

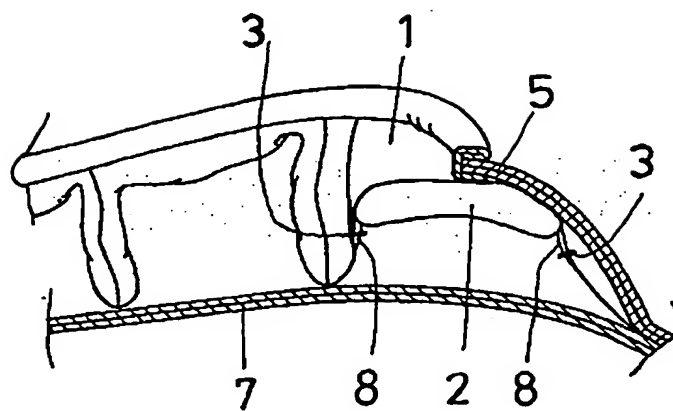


700

実用62-9482

代理人 雄田 文二

第6図



703

昭和62-9482

出願人代理人 鎌田 文二